

|     |    |         |     |        |  |         |      |
|-----|----|---------|-----|--------|--|---------|------|
| 種目名 | 道徳 | 選定替えの有無 | 有・無 | 選定発行者名 |  | 従来の発行者名 | 光村図書 |
|-----|----|---------|-----|--------|--|---------|------|

| 発行者<br>観 点          |           | 東京書籍                                                        | 学校図書                                                            | 教育出版                                                        |
|---------------------|-----------|-------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------|
| 1 学習指導要領との関連        |           | 問題解決的な学習や体験的な活動を取り入れ、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。            | 学習指導要領（総則）に示された「指導内容の重点化への配慮」を受けて、該当する内容項目を複数配置している。            | 「学びの手引き」を通して、学習のねらいを明確にし、問題解決的な学習を展開できるよう配列が工夫されている。        |
| 2 「あいちの教育の基本理念」との関連 |           | いじめに関わって、発達段階に応じた教材が取り上げられている。多様な人々の存在を尊重する心を育てるように工夫されている。 | ものづくりに携わってきた人々の「堅実さ」などの精神を継承し、新たな価値観を生み出すことができるような教材を選択している。    | 人の生き方を取り上げた教材を通して、自分の責任を果たしながら、多様な社会で生き抜く人間を育てよう工夫されている。    |
| 3<br>内<br>容         | (1) 内容の選択 | 生命の尊厳、いじめや情報化への対応などの現代的な課題について発達段階に応じた教材が適切に選択されている。        | 発達段階に応じて、社会的な視野を広げられるよう、主として集団や社会に関する内容項目の教材数を増やすなど、適切に編集されている。 | 生命の尊厳や情報モラルなどの現代的な課題を取り上げ、児童の実生活に即した内容から考えられるよう配慮されている。     |
|                     | (2) 内容の程度 | 多面的・多角的な見方や考え方をより深めるために、「出会う・ふれ合う」コーナーを配置している。              | 世界各地、老若男女等の登場人物と出来事を取り扱い、多面的・多角的な見方や考え方ができる教材を選択している。           | ロールプレイやモラルスキルトレーニングを取り入れ、発達段階に応じて道徳的諸価値の理解を深められるよう工夫されている。  |
|                     | (3) 内容の構成 | 巻末に自身の成長や学びの深まりを実感することができるように工夫されている。                       | 教材ごとに内容項目に合った振り返りの場面が設定されており、自ら見つめ直し、自身の見方や考え方を広げられる内容となっている。   | 巻頭に「道徳開き」、巻末に「学習の振り返り」のページが掲載され、自分自身の成長について考えられるよう構成されている。  |
| 4 表記・表現及び使用上の便宜等    |           | 巻頭、巻末が見開きページになっており、興味を引くよう資料が掲載されている。各教科との関連が明示されている。       | 挿絵、イラスト、写真などは、本文と関連付けてあるとともに、道徳的価値の理解を助けるよう効果的に配置されている。         | 目次と本文タイトルに、内容ごとのマークによる表示を施し、児童が何を学ぶのか視覚的に判別できるよう配慮されている。    |
| 5 印刷・造本等            |           | 発達段階に応じて、読みやすさを考慮した適切なものとなっている。環境や健康に配慮して製本されている。           | 全学年で本冊「きづき」、別冊「まなび」の二分冊構成である。別冊は、記述に適した用紙を使用し、開きやすいように製本されている。  | 読みやすくゆったりしたレイアウトにするために AB 判を採用し、読みやすい配色やフォントを使用するなど配慮されている。 |

| <div> <div>発行者</div> <div>観 点</div> </div> |           | 光村図書                                                          | 日本文教                                                           | 光文書院                                                                                  |
|--------------------------------------------|-----------|---------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 学習指導要領との関連                               |           | 教材が多様な形式で掲載されており、児童の関心・意欲を高め、主体的に考えられるよう工夫されている。              | 「学習の手引き」が効果的に配置され、児童が問題意識を持って、多面的・多角的に考え、道徳的価値を理解できるよう工夫されている。 | 各教材に「問い」「考える」「まとめる」「広げる」が示され、自分の体験と重ねて考え、学んだことを実生活に生かせるよう配慮されている。                     |
| 2 「あいちの教育の基本理念」との関連                        |           | 自己のよさを生かし、他を尊重して生活する大切さを学ぶ教材が取り上げられ、共に生きようとする心を育てるよう配慮されている。  | 友達の意見に耳を傾けながら、互いに磨きあって、自らを高め、その力をこれからの社会に生かしていけるように配慮されている。    | 学習のまとめとして、実際に道徳的行為を行い、そのよさや難しさ等を体験することで、自らを高めることができるよう配慮されている。                        |
| 3<br>内<br>容                                | (1) 内容の選択 | 内容項目間の関連を考慮するとともに、1年間で3つのまとまりに分け、学校生活の実態と、児童の成長に沿った配列となっている。  | 児童の発達段階を踏まえ、4つの内容がバランスよく配置されている。現代的・社会的な課題を考えられる教材が選択されている。    | 学級や学校生活など自分のこととして考えやすい教材や、人間としての生き方に迫る教材など、多様な内容が選択されており、特に「生命の尊さ」を軸に生きる力を育む工夫がされている。 |
|                                            | (2) 内容の程度 | 各学年で特に身に付けてほしい道徳性を重点項目として設定し、自分のこととして考えやすい教材を取り上げている。         | 巻頭に学び方を提示することで、一つの考え方に偏らず、多面的・多角的な見方や考え方ができるよう配慮されている。         | 各教材の下段に、考えを広げたり、深めたりする投げかけが配置されており、多面的・多角的な見方や考え方ができるよう工夫されている。                       |
|                                            | (3) 内容の構成 | 教材とコラムを組み合わせた「ユニット」を設け、物事を多面的・多角的に考えることができるよう考慮されている。         | 別冊の「道徳ノート」に振り返りや保護者記入欄を設け、成長を主観的・客観的に感じられるよう構成されている。           | 巻末に「学びの足あと」が設定されており、児童が授業の内容を振り返り、自分の成長を自覚できるよう工夫されている。                               |
| 4 表記・表現及び使用上の便宜等                           |           | 各学年の巻末に、人とのよりよい関係を築くための「こつ」が示されており、人と関わるよさを体験できるよう工夫されている。    | 別冊の「道徳ノート」は毎時間同じ構成で記録を残すことができ、持ち運びしやすいように考えられている。              | 巻頭に、道徳で学ぶ内容や本の使い方を絵や言葉で紹介するページを設け、目的意識をもって主体的に学習できるよう工夫されている。                         |
| 5 印刷・造本等                                   |           | 小学生が手に持ちやすいB5変形判でまとめられており、裏写りしにくいオフホワイト色の用紙を使用し、目や環境に配慮されている。 | AB版であるため、写真等が見やすく、教材も見開きで完結しており、児童も教師も使いやすいよう配慮されている。          | 児童の興味・関心や思考が深まるよう配置された写真やイラストが引き立つA4に近い版型を採用しており、用紙の厚みを抑えることで軽量化を図っている。               |

| 発行者<br>観 点          |           | 学 研                                                                           | 廣 済 堂 あ か つ き                                                  |
|---------------------|-----------|-------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------|
| 1 学習指導要領との関連        |           | 自分の生き方や現代的な課題について、児童が主体的に考え、議論することができるように配慮されている。                             | 「考えよう、話し合おう」では協働的な学びを具体的に示している。別冊ノートを活用することで学びを深めることができる。      |
| 2 「あいちの教育の基本理念」との関連 |           | 「自分ならどうする」「自分はどうか」という発問が各教材に設けられ、自己の生き方に結び付けられるように工夫されている。                    | 生命の尊さを学ぶ教材を2時間連続して配置しており、多様な価値等をもつ人々の存在を尊重する心を育てるよう編集されている。    |
| 3<br>内<br>容         | (1) 内容の選択 | 児童の発達段階を踏まえ、生命の尊さに関する教材や各分野における日本人の功績などを取り上げた教材を配置している。                       | 生命の尊さやいじめについて、先人の伝記や情報モラル等の内容と関連させた教材で、多面的・多角的に考えられるよう工夫されている。 |
|                     | (2) 内容の程度 | いのちの教育を中心に、人としてよりよく生きることができるよう配慮されている。全学年で児童の多様な意見を引き出しやすいように、異なる意見等が提示されている。 | 発達段階を考慮して、悩みや葛藤、心の揺れなど、よりよく生きる喜びや勇気、感動を味わえる教材が効果的に編集されている。     |
|                     | (3) 内容の構成 | 「やってみよう」「つなげよう」「ひろげよう」等のページを設け、問題解決的な学習や体験的な学習に対応できる構成になっている。                 | 問題解決的な学習や体験的な学習に取り組むことで、主体的・対話的で深い学びを促す内容構成となっている。             |
| 4 表記・表現及び使用上の便宜等    |           | 実在する人物や題材に関連する場所等について適切な写真が掲載され、児童が場面や様子、心情を理解しやすいように工夫されている。                 | 本冊に関連する別冊ノートのページ数を示すとともに、内容項目が色分け等で視覚的に判別できるよう配慮されている。         |
| 5 印刷・造本等            |           | 写真やイラスト、漫画を視覚的に捉えやすく配置し、児童の興味・関心を高めるように配慮されている。                               | 別冊ノートが本冊の巻末にきちんと収まるように、本冊の背表紙の強度を高め、扱いやすいよう配慮されている。            |